

催し物のご案内

企画展「自然史アーカイブズをひらく」

2026年2月21日(土)～5月10日(日) 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日: 2/24(火)、3/2(月)、3/9(月)、3/10(火)、3/16(月)、3/23(月)、3/30(月)、4/6(月)、4/13(月)、4/14(火)、4/20(月)、4/27(月)、4/30(木)、5/7(木)

野山を歩き、川や海に入り、動植物や地質等を調査・研究する自然史科学。その舞台裏では、スケッチ・メモ・写真等の膨大な記録資料が生み出されてきました。そこには、調査の足跡や失われた自然の姿、博物館の収蔵標本の情報、ときには研究者たちの情熱が眠っています。残された記録資料を読み解いて、自然史アーカイブズへの道を拓いてみましょう。



《事前申し込みの講座》

詳細は、博物館ウェブサイトや催物案内をご覧ください。

- 植物図鑑の使い方～春の花編～[博物館、他]
日時/4月18日(土) 10:00～12:30 ※雨天中止
対象/小学4年生～成人・教員 24人
※小学生は保護者参加必須、その場合は幼児連れ可。
申込締切:4月7日(火)
- 磯の生きものウォッチング(1)[真鶴町]
日時/4月19日(日) 10:00～14:00 ※雨天・荒天中止
対象/小学生とその保護者 30人
※保護者参加必須
申込締切:4月7日(火)
- 自然史のアーカイブズをみてみよう[博物館]
日時/4月26日(日) 10:00～15:30
対象/高校生～成人 12人
申込締切:4月14日(火)
- 昆虫採集連続講座[博物館、県西部の里山]
日時/4月26日(日)、5月24日(日)、6月28日(日)、9月20日(日)、11月1日(日)、1月17日(日) 9:00～16:00 ※全日程の参加が条件です。
対象/講座受講時に小学5年生～高校3年生の児童・生徒
※初回のみ小学生の保護者同伴可、それ以外の日には講座時間中の同行・同伴不可 15人
申込締切:4月14日(火)
- 木の実・草の実を知ろう[博物館]
日時/5月4日(月・祝) 13:30～15:30
対象/高校生～成人 16人
申込締切:4月21日(火)
- おやこで貝がらをしよう(1)・(2)[博物館]
日時/5月5日(火・祝)
(1)10:00～12:00・(2)13:30～15:30
※(1)と(2)は同じ内容です。
両方へ申し込むことも可能ですが、当選はどちらかになります。
対象/小学生とその保護者 各回6組18人
※保護者参加必須
申込締切:4月21日(火)
- オタマジャクシを顕微鏡でじっくり観察してみよう[博物館]
日時/5月9日(土) 10:00～12:00
対象/小学生～中学生 10組
※小学1～3年生は保護者参加必須
申込締切:4月28日(火)
- 初夏の鳥瞰図と地形・地図の観察会[横浜市]
日時/5月10日(日) 10:00～15:00
対象/中学生～成人 25人
申込締切:4月28日(火)
- 先生のための地層と化石入門～地域の石を未来の教材に～[大磯町、博物館]
日時/5月16日(土)・17日(日) 10:00～16:00
※2日間の参加が条件です。
少雨決行、荒天時は化石採集を中止。
対象/教員および成人 20人
申込締切:5月5日(火・祝)
- 磯の生きものウォッチング(2)[真鶴町]
日時/5月17日(日) 10:00～14:00 ※雨天・荒天中止
対象/小学生とその保護者 30人
※保護者参加必須
申込締切:5月5日(火・祝)

催し物の詳細や最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式X(旧Twitter)でご確認ください。

生命の星



[公式ウェブサイト] <https://nh.kanagawa-museum.jp/>
[公式 X] @seimeinohoshiPR [混雑情報 X] @seimeinohoshiCI
[問合せ先] 企画情報部 企画普及課 TEL: 0465-21-1515

ライブラリー通信 フラワーセンターからの^{たまもの}賜物 ^{ほかりくみこ} 甫 久美子(司書)

2025年末、旧神奈川県立フラワーセンター大船植物園から移管された書籍の登録がほぼ終了しました。和書、洋書に続き私が担当したのが和綴じ本、江戸から明治にかけて出版された書籍たちでした。

大船植物園はその前身が1893(明治26)年に設立された神奈川県立農事試験場です。横浜港をひかえた神奈川の立地から、輸出用の



芍薬花譜(内容を一部抜粋) 1898年 京都 朝陽園

はなしょうぶ ^{しゃくやく} 花菖蒲や芍薬の品種改良が盛んに行われました。その中心的存在だったのが宮澤文吾という研究者です。宮澤文吾は1912(大正元)年に農事試験場の主任技師になり、在職中に育成した芍薬は700品種、花菖蒲は300品種もあったそうです。

大船植物園から移管された和綴じ本には、宮澤文吾の署名が入っているものが多数あります。研究のために買い集めたものか、宮澤本人の蔵書なのか、和綴じ本は800冊を超えていました。江戸時代に流行した朝顔 ^{けんぎゅうか} (牽牛花)や万年青 ^{おもと} (不老草)をはじめ蘭、櫻、竹、牡丹の図譜や解説本、本草学の本、造園や名所のガイドブック、救荒作物(飢餓 ^{ききん} や飢饉のときに備える作物)についての本、神奈川県が輸出に力を入れていた百合に関する本等、植物関連の内容は多岐にわたります。また、元の版木が売り買いされ出版元や出版年を入れ替えて摺り直されたりしているので、実際はわかりませんが、その発行年が1600年代のものも混じっていました。

その中で特に目を引いたのは、『芍薬花譜』等美しい彩色の様々な花の図譜(図鑑)です。和紙への彩色が、現代でもその鮮やかさを保っています。令和の現代にこれらの和綴じ本を手にとってみられるのも、宮澤文吾をはじめ連綿と集め、守り、伝えてきた人々の努力の賜物だと思います。

自然科学のとびら
第32巻1号(通巻122号)
2026年3月15日発行
発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 田中 徳久
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846
編集 本杉 弥生(企画普及課)
印刷 株式会社あしがら印刷

© 2026 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.